

## ②指名委員会

人 員	4名（社外取締役4名） 委員長：社外取締役
任務など	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 取締役の選任および解任に関する株主総会議案の内容を決定する。</li> <li>2. 当社のコーポレートガバナンスの実効性を支えるのは取締役会の過半数を占める社外取締役の存在であるとの認識に基づき、独立性・中立性のある社外取締役を選任するために「社外取締役の独立性・中立性の要件」を定める。</li> <li>3. 取締役会が、様々なステークホルダーズの期待に応え、監督機能を発揮できるよう、多様なバックグラウンドを有する取締役候補者を決定する。</li> <li>4. 指名委員会の職務を執行するために必要な基本方針、規則および手続き等を定める。</li> </ol>
開催状況	2021年度 開催回数 10回 出席率* 取締役3名は100% 取締役1名は90% (9/10)

\* 2021年6月18日開催の第109回定時株主総会で新たに取締役に選任され、その後、指名委員会委員に就任した1名については、同日以降に開催した8回の指名委員会への出席を基に出席率を算定しています。

### 2021年度 指名委員会の活動状況

1. 取締役候補者選任に関する諸課題として、取締役会の構成や取締役の多様性およびスキルマトリックスなどに関して、hhcガバナンス委員会において情報共有とディスカッションを行いました。その後、指名委員会においても議論を行いました。
2. また、将来を見通した社外取締役の就退任に係るシミュレーションを行いました。
3. 上記の検討に基づき、取締役会の継続性の観点から社外取締役の在任期間についてフレキシブルな対応ができるよう一部、内規の改正を行いました。
4. 再任となる社外取締役候補者6名および新任となる社外取締役候補者1名について、独立性・中立性の審査を行い、いずれの候補者も問題がないことを確認しました。
5. 2022年度の新任社外取締役候補者1名と新任社内取締役候補者1名を含む11名の取締役候補者および取締役会構成案を決定しました。
6. 2023年度以降の社外取締役候補者についても具体的な検討および審議・決定を行いました。

## 指名委員会委員長からのメッセージ

当社のコーポレートガバナンスの実効性を支えるのは、取締役会の過半数を占める独立社外取締役の存在であり、厳格に独立性・中立性のある社外取締役候補者を選ぶこと、そして様々なステークホルダーズの期待に応え、経営の監督機能を高めるために、取締役会を、多様なバックグラウンドの取締役で構成すること、この2点が指名委員会の重要なミッションであると考えています。

当社指名委員会には、経営陣から独立した社外取締役を選任する手続きとルールが確立されています。社外取締役候補者のリストは、社外取締役だけでなく、当社取締役およびその経験者を含め、幅広いリソースから情報収集を行い、その充実をはかっています。リストから絞り込んだ候補者の方々には、当社の企業理念やコーポレートガバナンスの考え方等を情報提供し、就任の可能性を早い段階から把握するようにしています。こうした社外取締役の選任プロセスに、経営陣は関与しない仕組みになっています。

2021年度は他社の状況や外部評価機関の結果を参考に、取締役会の構成や取締役の多様性およびスキルマトリックスなどに関してhhcガバナンス委員会においても議論し、当社の経営をより深く理解し、監督するために、取締役の構成における「ありがたい姿」を検討しました。

2022年度は女性取締役比率の増加、また、医療分野に関する有識者の就任もしくはそうした分野に関する知見を取締役に取り入れるための工夫についての検討等、理想の実現に向けて取り組んでまいります。

指名委員会は今後も、当社のコーポレートガバナンスの向上に資するべく、社外取締役の在任期間の中長期的なシミュレーションなども行いながら、取締役会の構成や多様性の検討等、取締役会の機能発揮に結びつく取締役候補者の選任を進めてまいります。

指名委員会委員長(社外取締役)  
海堀 周造



## 取締役の選任システム

